

“わんりい”の催し 2019年度 第12回市民協働フェスティバル「まちカフェ」

2019年12月1日（日）10:00～16:00 場所：町田市役所全館

第13回市民協働フェスティバルの「まちカフェ」が、昨年12月1日に町田市役所の1階から3階のフロア一っばいに開かれました。テーマは「愛着と誇りを受け継ぐまちだ」です。参加は町田市内で活動するNPO団体、市民サークル、町内会などの81の団体で、それぞれの活動状況の発表や手作りの工芸品、新鮮な地場野菜の販売などを通じて交流を図りました。

フェスティバルは、午前10時に石阪市長の開会宣言でスタート。わんりいは、5度目の参加で例年通りラオスの少数民族・モン族の刺繍小物の販売に加え、今回が初めてとなる会員の佐藤紀子さん製作の宮沢賢治をイメージしたトートバッグの販売もしました。昨年は1階の人通りの多いブースでしたが今回は3階のブースとなり、昨年ほどの売り上げにはなりませんでしたがそれでも多くの方々の目に留まりお買い上げいただきました。これらの収益はモン族支援の「安井さん」と雲南の少数民族の支援をされている「日本雲南聯宜協会」に寄付をすることになっています。

また、今回も満さんの水墨画教室を午前・午後に分けて行いました。3階ということで参加者が果たしてどのくらいあるか心配しましたが、始めると次々と大人から子供までの参加があり来年の干支のくねずみ>を満さんの指導により、一生懸命に取り組んでいました。

まちカフェは午後4時にお開きとなりましたが、市役所の担当部門である市民協働推進課によりますと過去最高の9100名の方がご来場いただいたと発表がありました。（報告：寺西俊英）



町田市役所全景（ウィキペディアより）

